

①小学6年生 英語学習意識調査 (令和元年度12月実施) (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	29.6	48.1	14.8	7.4	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	96.3	3.7	0.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	81.5	18.5	0.0	0.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	51.9	40.7	7.4	0.0	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	37.0	33.3	18.5	7.4	3.7
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	22.2	51.9	18.5	3.7	3.7
問7	アルファベットの大文字が書ける。	77.8	18.5	0.0	0.0	3.7
問8	アルファベットの小文字が書ける。	74.1	18.5	0.0	0.0	7.4
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	55.6	33.3	7.4	0.0	3.7
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	25.9	29.6	33.3	7.4	3.7

②来年度に向けての指導改善の具体策(令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・英検 jr. の結果から、絵を見ながらその状況についての説明を聞き、その内容に合った質問文を選ぶことに課題が見られた。絵カード等を活用していくようにする。
- ・英語についてのアンケートでは、「英語を聞いたり話したりすることは楽しい」と肯定的にとらえている児童が約85%であった。また、特に「英語の授業でもっと話したい」という意欲ももっている。「聞く」ことより、「話す」場を増やし、自信をもって話せるような場を工夫するようにする。
- ・「聞いて理解すること」ができるようにするために、全職員がジェスチャーを交えた英語を話すようにする。

③学校関係者評価

- ・「英語の勉強は大切だ」と思っている児童が多い。しかし、「英語が好きだ」と思っている児童の割合が、やや低い。英語を話すことや聞いたりすることが楽しいと思えるような授業を心がけると良い。
- ・「英語を聞いたり話したりすることが楽しい」と思える児童を育てるため、ジェスチャーをしながら英語で歌を歌うことや、英語で質問したり答えたりする場の状況を工夫することで、楽しく英語を聞き、話す授業を大切にしたいということが分かった。児童が自信をもって話すことができる場を設定できるようにすると良い。また教師は、ジェスチャーを交えた英語を使っていくと良い。
- ・アルファベットの太文字や小文字は、ほとんどの児童が書けると分かった。STの時間などにも、書く時間を設けると良い。